

平成19年度 事務事業評価表						
〔様式1〕						
記入年月日	平成19年5月11日		記入者		連絡先	460
平成18年度部名	土木部		課名	津久井建設課	課長名	平本 悟
平成19年度部名	土木部		課名	津久井建設課	課長名	平本 悟
事務事業名	道路境界（台帳）整備事業					
予算上の事務事業名	道路境界整備事業					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	32320		
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして					
政策名	第2章 質の高い都市基盤の整備を進めます					
基本施策名	第3節 円滑な道路交通の確保					
施策名	第2施策 道路管理の充実					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等						
道路法第28条						
3 個別計画の概要				概要		
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分	維持・管理・補修 ▼			5 事業開始年度	▼	
6 事業概要						
(1) 事業の目的（何のために行うのか、またはもたらしたい成果）				(2) 対象（誰、何）		
道路管理者は、法の定めにより道路台帳を備え、閲覧に供する義務を負うが、道路台帳図に転記・補正すべき道路（開発道路や寄付道路）が残積していくため、整備を図り台帳閲覧や境界証明、幅員証明に供している。				市が整備行った道路（改良道路、狭あい道路）開発行為による帰属道路		
(3) 平成18年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。						
道路境界整備事業は又野・中野・根小屋の三地区で行なった。						
(業務名) 道路境界整備業務委託（その1）契約金額 2,121,000円 路線延長 630m						
道路境界整備業務委託（その2）契約金額 840,000円 路線延長 377.7m						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
8 事業費の推移 〔単位：千円〕						
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	0	0	2,961	3,500	3,500	
一般財源	0	0	2,961	3,500	3,500	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	0	0	3,220	3,220	3,220	
事業コスト合計	0	0	6,181	6,720	6,720	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 （主たる事業名）	道路境界整備事業			対象名称 と単位	路線延長（m）	
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト（主たる事業）	0	0	6,181	6,720	6,720	
対 象 数	0	0	1,008	1,000	1,000	
単位あたり経費（円）	#DIV/0!	#DIV/0!	6,134	6,720	6,720	
前 年 度 比		#DIV/0!	#DIV/0!	1.10	1.00	
10 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの						

指標名と単位	計画路線延長 (m)	指標式と指標の説明	道路境界整備実施延長 / 道路境界整備目標延長		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	1,008.0		
目標	0.0	0.0	1,000.0	1,000.0	1,000.0
目標達成度 (%)	#DIV/0!	#DIV/0!	100.8		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	道路境界実施率 (%)	指標式と指標の説明	道路境界整備実施延長 / 道路境界整備予定延長		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	100.0		
目標	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度 (%)	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A: 妥当である・B: 妥当性に課題がある・C: 妥当でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必要性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A: 有効である・B: 有効性を高める余地がある・C: 有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A: 効率が良い・B: 効率性を高める余地がある・C: 効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価 (一次評価)					
(1) 自動判定結果					
	[] : 良好な状態を維持する事業				
	[] : 概ね良好な状況である事業				
	[] : 見直しを行う必要がある事業				
	[] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価 (今後の方向性)			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		道路台帳整備を図り台帳閲覧や境界証明、幅員証明に供する事業であり、現状維持とする。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
過去のデータ及び資料等のファイリング・整理を行い、参考資料として活用を図る。			未登記・未取得道路の早期解消		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価 (今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		・法の定めにより道路台帳の整備を行うものであり、引き続き適正管理に努める。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			